

厚生労働大臣 舩添 要一 殿

学校法人 久留米大学
理事長 平山 良

久留米大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	257 人
--------	-------

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数 単位 人

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医師	94	391.7	485.7	看護業務補助	31	診療エックス線技師	0
歯科医師	0	9.9	9.9	理学療法士	8	臨床検査技師	76
薬剤師	56	0.0	56.0	作業療法士	5	衛生検査技師	1
保健師	0	0.0	0.0	視能訓練士	3	その他	0
助産師	27	0.0	27.0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	935	0.8	935.8	臨床工学技士	13	医療社会事業従事者	3
准看護師	9	0.0	9.0	栄養士	2	その他の技術員	21
歯科衛生士	3	0.5	3.5	歯科技工士	2	事務職員	84
管理栄養士	11	0.0	11.0	診療放射線技師	51	その他の職員	58

- (注)1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を少数点以下2を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	940.1 人	17.9 人	958.0 人
1日当たり平均外来患者数	1,837.9 人	100.8 人	1,938.7 人
1日当たり平均調剤数			3,740.9 剤

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨、頭蓋骨の観血的移動術	有・無	3人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	0人
・溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法	有・無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・無	3人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	0人
・人工中耳	有・無	0人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	0人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	0人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	0人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	0人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	0人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	3人
・筋緊張性ジストロフィー症のDNA診断	有・無	0人
・SDI法による抗癌剤感受性試験	有・無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	0人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	4人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	0人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	0人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	5人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	0人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	19人
・成長障害のDNA診断	有・無	0人
・生体部分肺移植術	有・無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	10人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	0人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	26人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	0人
・悪性黒色腫、乳癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	0人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	10人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・ ³¹ P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・特発性男性不妊症・性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・胎児尿路-羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗癌剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・Q熱診断における血清抗体価測定および病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・エキシマレーザ冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いた癌ワクチン療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	52人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	10人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・末梢血管細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	17人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	10人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・耳鼻いんこう領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮筋症核摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/> 無	2人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・胎児心超音波検査	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・画像診断ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	17人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	10人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	5人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・先天性銅代謝異常の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・超音波骨折療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/> 無	10人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	0人
・X線CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	0人

- (注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。
2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。
3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

その他

高度先進医療の種類	取扱患者数
ポジトロン断層画像による不安定プラークの検出	30人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	212 人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	50 人
・多発性硬化症	86 人	・ウェゲナー肉芽腫症	135 人
・重症筋無力症	279 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	184 人
・全身性エリテマトーデス	3,110 人	・多系統萎縮症	7 人
・スモン	2 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	17 人
・再生不良性貧血	729 人	・膿疱性乾癬	13 人
・サルコイドーシス	397 人	・広範脊柱管狭窄症	7 人
・筋萎縮性側索硬化症	43 人	・原発性胆汁性肝硬変	2,681 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	658 人	・重症急性膵炎	2,570 人
・特発性血小板減少性紫斑病	48 人	・特発性大腿骨頭壊死症	256 人
・結節性動脈周囲炎	60 人	・混合性結合組織病	513 人
・潰瘍性大腸炎	294 人	・原発性免疫不全症候群	242 人
・大動脈炎症候群	91 人	・特発性間質性肺炎	1,392 人
・ピュルガー病	78 人	・網膜色素変性症	120 人
・天疱瘡	194 人	・プリオン病	1 人
・脊髄小脳変性症	82 人	・原発性肺高血圧症	241 人
・クローン病	86 人	・神経線維腫症	76 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	9 人	・亜急性硬化性全脳炎	1 人
・悪性関節リウマチ	1,925 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0 人
・パーキンソン病関連疾患	395 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3 人
・アミロイドーシス	114 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2 人
・後縦靭帯骨化症	344 人	・副腎白質ジストロフィー	2 人
・ハンチントン病	3 人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	140回/年	
剖検の状況	剖検症例数 65 例	剖検率 11.3 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
別紙				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 101

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別紙			

計 164

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:円)	補助元又は委託元名
気管支喘息難治・重症化の病因・病態の解明に関する研究	相澤久道	呼吸器・神経・膠原病内科	1,400,000	厚生労働省
慢性閉塞性肺疾患に対する漢方治療の有用性評価	相澤久道	呼吸器・神経・膠原病内科	100,000	厚生労働省
炎症性サイトカインおよび酸化ストレス制御によるCOPD治療法の開発に関する研究	相澤久道	呼吸器・神経・膠原病内科	8,000,000	独立行政法人日本学術振興会
間質性肺炎発症における炎症性サイトカインIL-18とレドックス制御の関与の解明	星野友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	7,400,000	独立行政法人日本学術振興会
抗癌剤による肺障害の分子機構解明と新規治療薬開発	星野友昭	呼吸器・神経・膠原病内科	1,700,000	文部科学省
血管内皮前駆細胞を用いた肝線維症に対する新しい細胞療法の開発	中村 徹	消化器内科	1,200,000	文部科学省
小胞体ストレスとマロリー体形成の関与について	花田慎一郎	消化器内科	1,000,000	文部科学省
サイトカインシグナル制御による肝炎、肝癌の予防	吉田隆文	消化器内科	1,400,000	文部科学省
血管内皮前駆細胞を用いたデリバリーシステムによる肝再生促進療法の確立	谷口英太郎	消化器内科	1,400,000	文部科学省
門脈圧亢進症における外因性エストロゲンの臨床応用	坂本雅晴	消化器内科	500,000	文部科学省
血管内皮前駆細胞を用いた炎症性腸疾患の治療戦略	光山慶一	消化器内科	700,000	文部科学省
脂肪肝、NASH治療薬としての腸管ペプチドPPY3-36の有効性に関する研究	上野隆登	消化器内科	900,000	文部科学省
C型肝炎ウイルスによるインスリン抵抗性発症の分子機構解明	佐田通夫	消化器内科	700,000	文部科学省
茶ポリフェノール成分による肝線維化と脂肪性肝炎の改善効果に関する研究	坂田隆一郎	消化器内科	700,000	文部科学省
前癌状態である扁平苔癬の発現とHCVによるインスリン抵抗性獲得との関連	長尾由実子	消化器内科	1,500,000	文部科学省
病期別にみた肝がん治療法の費用効果およびQOLの観点からみた有効性に関する研究	佐田通夫	消化器内科	1,000,000	厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルスの新たな感染予防法の確立のための感染病態解明に関する研究	佐田通夫	消化器内科	2,000,000	厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルス感染者に対する治療の標準化に関する臨床的研究	佐田通夫	消化器内科	1,000,000	厚生労働省
B型及びC型肝炎の疫学及び検診を含む肝炎対策に関する研究	佐田通夫	消化器内科	1,000,000	厚生労働省
肝炎ウイルス感染の肝外病変の基礎的及び臨床的包括研究	佐田通夫	消化器内科	6,000,000	厚生労働省
肝がん患者のQOL向上に関する研究	佐田通夫	消化器内科	2,000,000	厚生労働省
進行肝細胞癌に対する集学的治療確立に関する研究	佐田通夫	消化器内科	1,000,000	厚生労働省
いわゆる健康食品の健康影響と健康被害に関する研究	佐田通夫	消化器内科	750,000	厚生労働省
肝発癌にみられる細胞内シグナルの活性化機構とその抑制	佐田通夫	消化器内科	7,500,000	車両財団

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:円)	補助元又は委託元名
FDG-PETを用いた動脈硬化病変の活動性と治療効果に対する新しい判定法の開発	田原宣広	心臓・血管内科	1,000,000	補 福田記念医療技術振興財団
FDG-PETを用いた動脈硬化病変の活動性と治療効果に対する新しい判定法の開発	田原宣広	心臓・血管内科	1,000,000	補 三井生命厚生事業団
FDG-PETを用いた動脈硬化病変の活動性と治療効果に対する新しい判定法の開発	田原宣広	心臓・血管内科	800,000	補 久留米大学石橋学術振興基金
動脈硬化病変の活動性に対する新しい判定法の開発 -FDG-PETによる	田原宣広	心臓・血管内科	500,000	補 木村記念循環器財団
動脈硬化病変の活動性と治療効果に対してFDG-PETを用いた新しい判定法の開発	田原宣広	心臓・血管内科	2,000,000	補 日本心臓財団
再灌流障害の新しい治療法の研究 -エラスボール冠注の効果	鬼塚一郎	心臓・血管内科	1,700,000	補 文部科学省
血管ミトコンドリア制御: metabolic syndrome抗動脈硬化治療	梅井秀和	心臓・血管内科	1,700,000	補 文部科学省
ヒトにおける終末糖化産物(AGEs)の脳・心血管病進展への影響	榎本美佳	心臓・血管内科	1,400,000	補 文部科学省
血管新生抑制因子の制御を応用した新しい細胞治療の開発	竹下吉明	心臓・血管内科	1,600,000	補 文部科学省
老化と血管新生の関連についての検討 -分子生物学見地からの検討	嶋田寿文	心臓・血管内科	1,700,000	補 文部科学省
色素上皮由来因子(PEDF)による血管内狭窄抑制効果の検討	中村和生	心臓・血管内科	1,800,000	補 文部科学省
バジャー病の虚血肢に認められる血管新生障害の基調となるメカニズム	佐々木健一郎	心臓・血管内科	2,100,000	補 文部科学省
血管再生による末梢動脈閉塞性疾患治療 -血管新生抑制因子の制御による新しい治療	今泉 勉	心臓・血管内科	3,700,000	補 日本私立学校振興・共済事業団
16α-6 骨髄幹細胞及び循環調節ペプチドを用いた心血管再生に関する他施設共同研究	今泉 勉	心臓・血管内科	1,500,000	補 厚生労働省
PEDFのがん・動脈硬化症治療への応用プロジェクト	山岸昌一	心臓・血管内科	40,000,000	補 文部科学省
スタチンはプラークの炎症を抑制する - ¹⁸ F-fluorodeoxyglucose positron emission tomographyに	田原宣広	心臓・血管内科	1,000,000	補 バイエル薬品(株)・木村記念循環器財団
バジャー病の虚血肢末梢に認められる血管新生障害の基調となるメカニズム	佐々木健一郎	心臓・血管内科	1,000,000	補 貝原守一医学振興財団
内因性一酸化窒素合成酵素阻害物質蓄積抑制による慢性腎疾患進展予防	上田 誠二	腎臓内科	1,800,000	補 文部科学省
Azelinidipine(およびOlmesartan)の糖尿病血管障害抑制作用の検討	奥田誠也	腎臓内科	5,500,000	補 三共株式会社
糖尿病性腎症進展における内因性NO合成酵素物質(ADMA)の役割	柴田 了	腎臓内科	800,000	補 文部科学省
腎不全進展における内因性NO合成酵素阻害物質(ADMA)の役割	松本有里子	腎臓内科	500,000	補 文部科学省
アドリマイシン(ADR)腎症における尿蛋白発症機序の解明-PEDFの役割-	藤村敏子	腎臓内科	500,000	補 文部科学省
造血器悪性腫瘍患者の包括的地域医療を目指した診療の構築	金地 泰典	血液内科	500,000	補 芸術文化活動助成金
凝固第XII因子を標的とした血栓症治療薬の開発	金地 泰典	血液内科	1,000,000	補 病態代謝研究会 研究助成金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(単位:円)	補助元又は委託元名	
fMRIと探索眼球運動の同時記録を用いた統合失調症の情動認知障害の脳内病態の解明	前田久雄	精神神経科	1,900,000	補委	文部科学省 科学研究補助金 基盤研究(B)
日中の過眠の実態とその対策に関する研究	内村直尚	精神神経科	700,000	補委	厚生労働省 科学研究補助金 大川匡子
睡眠障害医療における政策医療ネットワーク構築のための医療機関連携のガイドライン作成に関する研究	内村直尚	精神神経科	600,000	補委	厚生労働省 精神神経疾患研究委託費 清水徹男
こころの健康づくりの目標達成のための休養・睡眠のあり方に関する根拠に基づく研究	内村直尚	精神神経科	600,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 内山 真
高校生および勤労者の睡眠不足による過眠に対する午睡導入の実証的研究	内村直尚	精神神経科	3,200,000	補委	文部科学省 科学研究補助金 基盤研究(C)
ストレス性精神障害の予防と介入に携わる専門職のスキル向上と情報データベース構築に関する研究	前田正治	精神神経科	800,000	補委	厚生労働省 科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業 加藤 寛
精神政策医療ネットワークによる統合失調症の治療及び社会復帰支援に関する研究	内野俊郎	精神神経科	500,000	補委	厚生労働省 精神神経疾患研究委託費 塚田和美
「注意サイン」概念を用いた疾患非特異的な集団認知行動療法の実践と効果	大江美佐里	精神神経科	400,000	補委	(財)メンタルヘルス岡本記念財団 研究活動助成金
ライゾゾーム病(ファブリー病含む)に関する調査研究	芳野 信	小児科	1,300,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患研究事業
わが国の21世紀における新生児スクリーニングのあり方に関する研究	芳野 信	小児科	150,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業
ウィルソン病等における血中セルロプラスミン分子の構造解析	渡邊 順子	小児科	1,200,000	補委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)
MELASに対するL-アルギニン治療(AJA030/AJA001)の治験研究	古賀靖敏	小児科	5,000,000	補委	日本医師会治験促進センター(治験推進研究事業)
ミトコンドリア脳筋症の分子病態解明と新規治療法の開発	古賀靖敏	小児科	1,000,000	補委	国立精神・神経センター(厚生労働省精神・神経委託費)
ミトコンドリア・核ゲノム関連遺伝子情報ネットワークの解明	古賀靖敏	小児科	2,700,000	補委	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)
早期老化モデルマウスを用いたエネルギー産生機能異常の分子基盤解明	秋田幸大	小児科	1,300,000	補委	文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)